

これからの地域づくり

十和田市
地方版総合戦略ワーキンググループ
地域づくりグループ

地域づくり～背景・課題・テーマ

| | |
|-----|---|
| 背景 | 人口減少・少子高齢化の進展 ・ 核家族化 |
| 課題 | <ul style="list-style-type: none">➤ 地域の担い手不足、連帯感の薄れ、高齢者や子供の見守り、防犯・防災➤ 現役世代減少・高齢者世帯の増加・活力低下➤ 農村集落においては、都市部に先駆けて人口減少・高齢化が進展、農村社会の維持 |
| テーマ | 住み慣れた「地域」で、いかに健康で生き生きと安心した暮らしを続けられるか ①コミュニティ組織の強化 ・ 生涯現役社会の実現（生きがいづくり） ・ 健康寿命の延伸 ②農業を軸にしたコミュニティの維持・活性化 |

①コミュニティ/生涯現役～現状・課題

高齢者関係(十和田市)統計

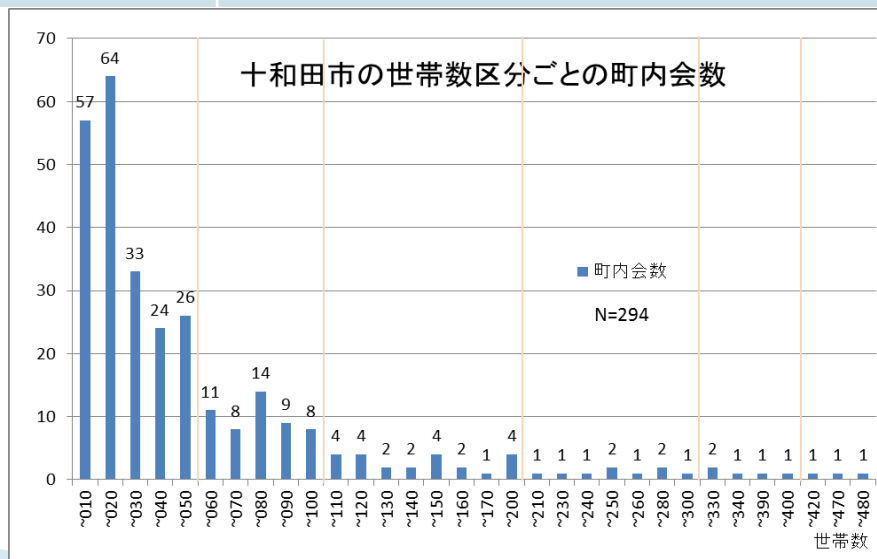
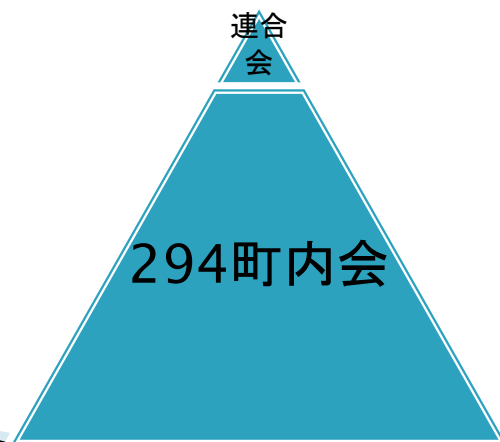
統計引用:
市住民基本台帳H27.3
第6期十和田市介護保険計画
第2次健康とわだ21計画

| 項目 | 数値 | 現状・課題 |
|--------------------------------------|--|---|
| 高齢化率 (H27.3) | 28.8% (18,282人) | <ul style="list-style-type: none"> ・高齢化率は増加 ・今後も増加し続けると言われている |
| 総人口に対する 60歳代の割合 (H27.3) | 17.1% (10,879人) | <ul style="list-style-type: none"> ・退職世代の人口が多い ・元気な退職世代は「企業人」から「地域人」に |
| 高齢者世帯率 (H26.9) 高齢者単身世帯率(H26.9) | 25.3% (6,873世帯) 15.1% (4,121世帯) | <ul style="list-style-type: none"> ・年々右肩上がりに増加 ・高齢者単身世帯率の比較では、県や国と比較し非常に高い・高齢者見守りが必要！ |
| 要介護認定率 (一号被保険者) (H26.9) | 17.3% (3,078人) | <ul style="list-style-type: none"> ・ここ数年、要介護認定率は横ばい ・県や国より低い |
| 健康寿命 | 男 76.29年 女 81.91年 | <ul style="list-style-type: none"> 男→県平均を上回り高い、全国よりは低い 女→県・全国よりも低い 健康寿命の延伸！ |

①コミュニティ/生涯現役～現状・課題

十和田市の町内会

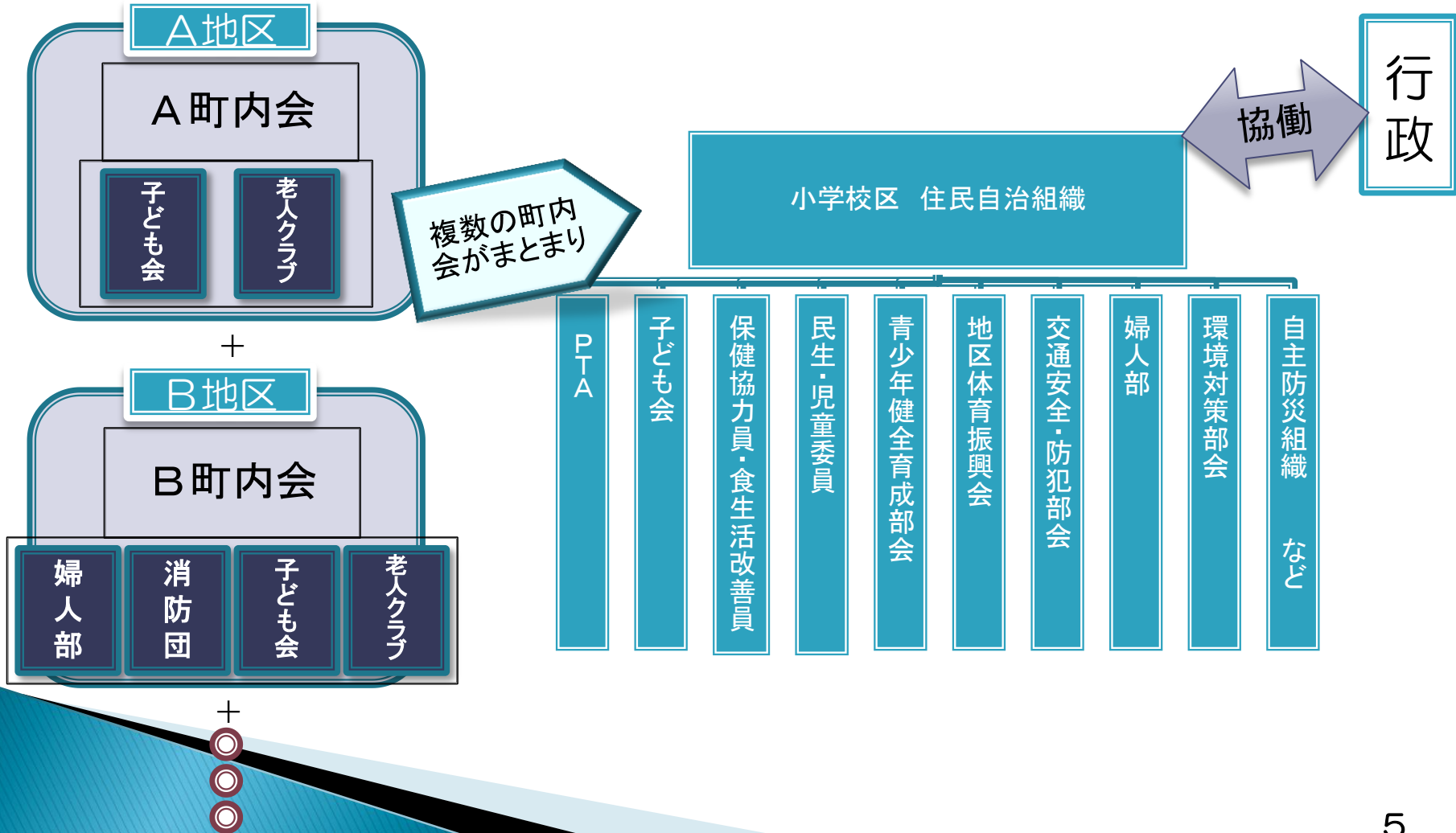
| 項目 | 町内会数 | 備考 |
|----------------|-----------------|------------------------------|
| 全市単位町内会数 | 294町内会 | |
| うち世帯数30以下の町内会数 | 154町内会 (半数超) | 小さな町内会が多く コミュニティのチカラが弱い |
| 最少加入世帯 | 2世帯 | コミュニティとして成り立たない 地域の声が届かない |



①コミュニティ/生涯現役～提案

現在

協働によるまちづくり
市民・地域の声を反映させるしくみづくり



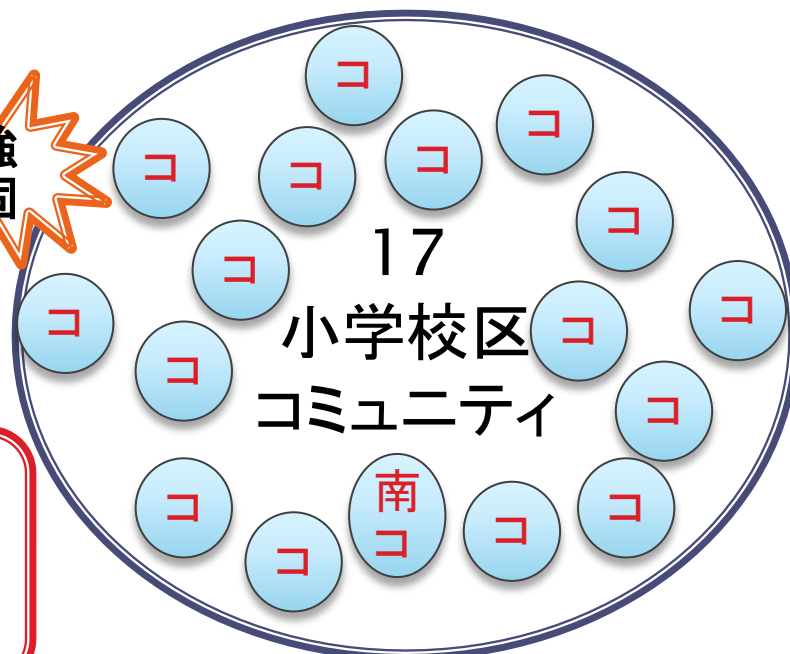
①コミュニティ/生涯現役～提案



広域エリアのコミュニティ組織化

新たな広域的なエリア(17小学校区)でのコミュニティを組織

市民・地域の声をまとめ、行政に反映させる



！小さな集落・町内会では出来なかったことが出来るようになる！

①コミュニティ/生涯現役～提案

小学校区コミュニティの組織化 ～住民自治組織

有識者を交えた地域点検

- ・地域の現状把握(強み・弱み)、地域課題の抽出

地域のことは
地域で考え決める！

地域住民によるワークショップ

- ・課題整理、地域への愛着確認、ニーズ確認、コミュニティ意識の醸成

愛着

検討会・準備委員会

- ・組織化に向けた具体会議



〇〇地区住民自治組織 設立！！

①コミュニティ/生涯現役～提案

コミュニティ活動の種類

その地域の住民等が構成員となり、地域の特性を生かした自主的な地域づくりへの取組み、互いに支え合う安心・安全な地域づくり、地域課題を自ら解決できる地域づくり。

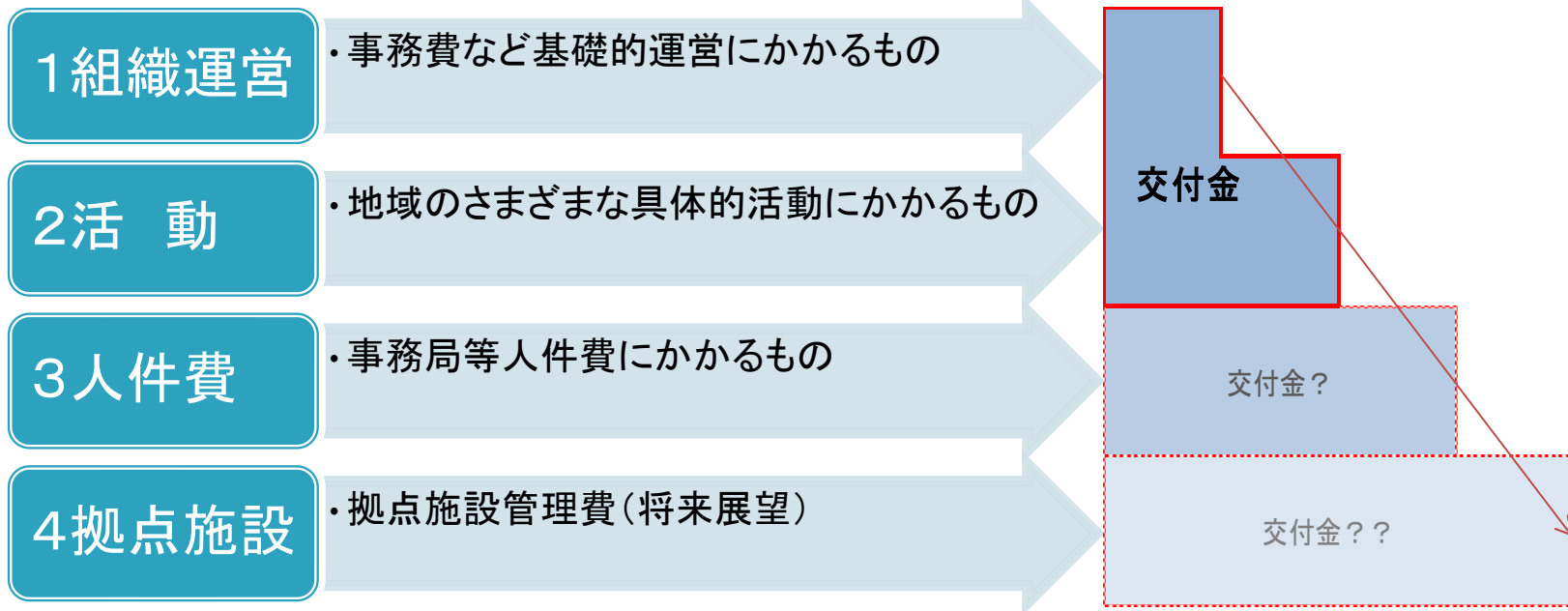
| 活動種類(部会) | 具体内容 |
|----------|---|
| 防災・防犯 | ・防災訓練 ・防犯対策 ・要援護者見守り |
| 安全対策 | ・交通安全 ・危険箇所 |
| 環境整備 | ・環境美化活動 ・ゴミ集積所管理 |
| 高齢者支援 | ・生きがいづくり(サロン・余暇) ・買い物支援 ・配食サービス ・外出支援 ・雪かき |
| 健康づくり | ・心身の健康づくり ・介護予防 |
| 子育て支援 | ・子育て支援 ・青少年健全育成 |
| 地域づくり | ・地域文化伝承 ・地域の課題解決 ・地域づくり運営 |
| その他 | ・行政からの依頼 |

！！ 退職世代の活躍が生きがい・健康づくりにも寄与し、地域の活力にも！！

①コミュニティ/生涯現役～提案

コミュニティ組織への交付金

コミュニティ組織の組織運営費用や、地域の特色を生かした魅力ある地域づくり、地域課題の解決に向けた活動財源として、地域コミュニティ交付金を交付(上限額設定)



！！ 既存の町内会等への各種補助金・交付金を包含できるよう検討

②農業～現状

十和田市の農家数

| | 平成17年 | 平成22年 | 増減 |
|-------------------------------------|--------|--------|-----------------|
| 販売農家数 | 3,248戸 | 2,709戸 | △17% (△539戸) |
| 専業農家及び 第1種兼業農家数 | 1,398戸 | 1,315戸 | △6% (△83戸) |
| 基幹的農業従事者に おける65歳以上の従 事者が占める割合 | 50% | 52% | 2% |

出典：2010農林業センサス

現在は、主に第2種兼業農家が離農！
(第2種兼業農家・・・農業所得を従とする兼業農家)

②農業～課題

農業を取り巻く環境は、消費の減退や輸入農産物の増大等による農産物価格の低迷などにより厳しい局面が続いている。

現在は、主に第2種兼業農家の離農が進んでいるものの、今後、農業により生計を立てている農家の経営が立ち行かなくなると、特に農村部におけるコミュニティ機能の低下や失業者の増加、雇用の喪失に繋がり、市民生活の様々な分野に影響を及ぼすことが予想される。

②農業～提案(集落営農組織への支援)

地域農業を維持するための受け皿となる組織の育成

| 提案 | 内容 | 参考事例 |
|----------------------------------|---|----------------------|
| I 集落営農組織を活用した、複合型事業体の育成に向けたWGの設置 | 庁内にWGを設置し、市から事業体へ指定管理や事業委託等できるものがないかを検討 | 島根県出雲市 (有)グリーンワーク |
| 収入機会を配分し、所得を補完！ | | |
| II 集落営農組織における、正社員採用後の経費の一部補助 | 国の「農の雇用事業」による助成終了後に、冬期間の収入を補うため、年36万円を3年間給付 | なし |
| 組織が冬期間の収入確保に至るまでの間を支援！ | | |

②農業～提案(若手農業者の確保)

若手農業者(担い手)の育成

| 提案 | 内容 | 参考事例 |
|---------------------------|--|--------|
| 新規就農者へ農地や機械・施設を紹介する仕組みの構築 | 農地や機械・施設の賃貸・売却を希望する所有者から提供された情報を集約し、新規就農者へ紹介 | 空き家バンク |

就農しやすい環境づくり！